

環境講座

・・・家庭ごみの分別・減量とリサイクル・・・

令和元年6月2日（日）学区集会所にて広島市環境局業務第一課の方3名に来て頂いて「家庭ごみに減量と分別・リサイクル」の講座を開催致しました。

公衛協委員だけでなく一般の町民の方も含めて21名の方が参加されました。広島市のごみの現状や処理に1億8000万円も税金が使われていることなどの説明には参加者全員が驚き減量しないといけないとの思いを強くしました。今回は質問も積極的にだされ 牛乳パックだけではなく 酒類のパックもリサイクル表示がありどうすれば良いかや金属と木で作られている選定バサミは資源ごみに出すことなどが確認されました。

ペットボトルのキャップを取った後のリングを取らなくてもよい事、ラベルは外すこと、小型家電はコードがついたままでも投入口に張れば回収箱に入れてよいこと、レジシートや見えないように張りつけたもの防水加工したものはパルプ原料にできないためリサイクルできないことなど役に立つ知識を共有することが出来ました。

今後も多数の人に知ってもらいたいとの参加者の感想が多く聞かれました。公衛協ではこの環境講座を毎年続けていきます。

本年度は講座とともにリサイクル施設の現状を視察する見学会も併せて6月10日に実施します。

毘沙門台学区公衆衛生推進協議会 会長 速山 健

